

施策	4202 地域福祉の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	地域社会で助け合う相互扶助体制の確立、社会福祉協議会やNPO等の地域福祉団体・ボランティアとの連携強化等を図る。						
成果指標	民生委員による年間相談及び支援件数...平成29年度目標値8,000件(現状値7,374件)						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ 件 ]	予定	6,700.00	6,850.00	7,200.00	7,600.00	8,000.00
		実績	6,744.00	6,033.00			
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
	単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	286,897	350,968	0	0	0	
	実績	306,502	563,327			0	
内 部 評 価	貢献度	障がい者や高齢者などが健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、地域で助け合う事が必要であるため、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	民生委員による年間相談支援件数は、包括支援センター活動の普及により高齢者の相談支援件数は減少しているが、子どもに関する相談支援件数や日常的な支援は増加している。					
	課題	高齢者に対する相談支援活動が中心の活動となっているが、昨年度モデル事業として実施した生活困窮に関する相談対応が増えてきている。					
	取組方針	地域で暮らし、支援を必要とする高齢者や障がい者、子ども達に対しては、地域内での連携を更に強化するために、相互扶助体制の確立を図っていく。					
外 部 評 価	民生委員による年間相談及び支援件数が成果指標となっている。昨年度の件数が目標値に達していないが、件数だけでは測れない部分があることから、次回の設定の際には、他の成果指標の設定も検討してほしい。 民生委員・児童委員、高齢者ふれあい相談員、地域住民、社会福祉協議会、ボランティア並びにNPO等との連携を強化するため、地域生活支援ネットワークの構築を提案する。 また、福祉に対する理解や考え方を深めるため、小中学生に対する福祉教育を充実させることが必要である。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	200106	民生委員児童委員活動費(岩舟)				3,000	100
	200401	社会福祉協議会補助金				148,656	100
	201301	社会福祉施策推進委員会運営費				986	100
	201401	地域福祉基金積立金				212,616	100
	201501	社会福祉施設運営費補助金				7,500	100
	200101	民生委員児童委員活動費				45,359	91
	200701	罹災救助基金積立金				206	89
	200301	災害弔慰見舞費				2,490	1
	200902	大平地域福祉センターふるさとふれあい館管理運営費				20,440	1
201801	福祉事業者指定事業費				30,112	1	



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	030101	予算事業コード	200101	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	民生委員児童委員活動費										主	4202	総合的な福祉の構築		地域福祉の充実		
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 社会福祉課 福祉政策担当 福祉政策チーム						担当者	奈良部久子				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	民生委員法 栃木市民生委員児童委員協議会連合会等交付金交付要綱								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	325,000	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 【主要事業】 1.市民児協連合会事務局運営業務 2.民生委員児童委員地区会長会開催業務 3.研修会の開催、参加業務 4.各種交付金支出業務 5.栃木県民児協事務局との連絡調整業務 6.一斉改選にかかる業務(3年ごと)										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 民生委員児童委員に関する業務の円滑な執行と事務効率の改善を行う。					
											成果目標	民生委員による年間相談及び支援件数...平成29年度目標値8,000件(現状値7,374件)					

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成 25 年度			平成 26 年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 ・民生委員児童委員協議会連合会関係事務 ・一斉改選事務(推薦依頼、推薦会の開催、退任式・委嘱状伝達式の開催等) ・岩舟町民児協との統合に向けた準備			【事業の内容】 ・民生委員児童委員協議会連合会関係事務 ・民生委員児童委員各種交付金交付事務 ・岩舟町民児協との統合に関する調整						
	県支出金	25,202	28,490	【成果】 ・委員研修及び情報の伝達を行い、活発な委員活動を推進し、岩舟民児協との合併についてH26年度より行うことを決めた。 ・一斉改選を行い、H26.3月時点で欠員なく委嘱を行った。			【成果】 ・民生委員児童委員協議会連合会として委員研修及び情報の伝達を行い、各専門部会等へ交付金を交付し活発な委員活動を推進した。 ・年度当初より岩舟民児協と合併し、定例会長会及び研修等を行った。						
	地方債	0	0										
	その他特財	0	0										
	一般財源	8,307	9,369										
	事業費 a	33,509	37,859										
	人件費 b	7,500	7,500										
減価償却費 c		0											
総事業費 a+b+c	41,009	45,359	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	148.00	137.00	民生委員児童委員一人当たりの年平均の相談・支援・活動件数	相談・支援・活動件数 ÷ 民生委員児童委員数 H26目標値150		件	妥当	無	適正	有効	無	無	
結果指標 2	136.00	128.00	民生委員児童委員一人当たりの年平均の活動日数	活動日数 ÷ 民生委員児童委員数 H26目標値140日		日							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 各地区民児協事務局と打合せを行い市民児協連合会として、全体の意思確認と情報共有を確実に行う。 一斉改選に伴い、委員推薦事務・委嘱状伝達式の開催・新任委員研修を行う。 また、民生委員の全体のスキルアップを図るため、研修等を行う。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--